

あけまして おめでとうございます

千歳市長 山口 幸太郎

知られていない新たな千歳の魅力を「発見」、定住人口や来訪者が増加するよう魅力を「発信」して、千歳の大きな「発展」につながる1年となるよう、今年の「一年一字」は「発」としました。



平成28年の輝かしい新春を健やかに迎えられましたことを、心からお慶び申しあげます。

私は、昨年4月に市民の皆さまの温かいご理解とご支援をいただき、引き続き4期目の市政を担当させていただくこととなり、改めて皆さまからの信託の重さを実感するとともに、9万6千市民の幸せのために、市政運営に全力で取り組んでいくところであります。

さて、昨年を顧みますと、3月に「千歳市移住・定住促進プロジェクト」を策定し、平成32年度の目標人口を9万7千人と掲げ、現在、その達成に向けて「結婚活動応援事業」や「転入親子ウエルカム交流ツアー」の実施をはじめ、子育てや教育環境の充実など幅広い分野で事業を展開し、さらなる定住人口の増加、交流人口の拡大に向けた取り組みを進めております。

4月には、市立保育所をはじめ、民間保育園、幼稚園が「幼保連携型認定こども園」に移行したところであり、今後ともより質の高い教育・保育環境の充実に努めてまいります。

夏には、待望の「道の駅サーモンパーク千歳」と「サケのふるさと千歳水族館」がリニューアルオープンし、開設から連日、多くの市民や観光客に会場いただき、清流千歳川に面した水辺空間で、地元産品を中心とした物販をはじめ、さまざまなイベントを楽しんでいただきました。

今後も、まちなかのにぎわい拠点として、四季を通じて皆さまから長く愛される施設となるよう取り組んでまいります。

また、これまで協議を重ねてまいりました新千歳空港24時間運用枠の拡大について、地域の皆さまの多大なるご理解とご協力により基本合意に至ったところであります。新千歳空港の利便性が今後ますます向上し、本市をはじめ北海道経済が大きく発展していくことを期待するとともに、住宅防音対策などが着実に進むよう北海道と連携して実施してまいります。

本年は、平成23年度からスタートした千歳市第6期総合計画の折り返しの年となります。これまで「人口減少社会」の到来をまちづくりの最重要課題として掲げ、人口増加につながるさまざまな取り組みを進めてまいりましたが、今後におきましても、本市が持つ特性と強みを最大限に生かし、まちの魅力と価値をさらに高め、「このまちに住んで良かった」、「千歳に住んでみたい」と思っていただけけるまちづくりに全力で取り組んでいく所存であります。新しい一年が、市民の皆さまにとりまして、希望に満ち、健康で笑顔あふれる年となりますよう心からお祈り申しあげ、新年のごあいさつとさせていただきます。